



録画配信の
2次元コード

福田 正
健政会

水富地区の機能していない水路敷の 売払いを積極的に…

Q 水富地区の台帳と現状が不一致の水路敷の状況は。

A 都市建設部長 農地の宅地開発による水田の減少とともに用排水路の利用も減少したことなどから、管理が行き届かず、年を経るにつれ農地との区分が曖昧になったことが台帳と現況が一致しない理由であると考えます。

Q 水路敷に工作物などがしばらく放置されているような事例もあるが、そのような事例を確認した場合はどのように対応しているか。

A 都市建設部長 基本的に、機能回復のためは正指導を行うが、機能を有していない水路敷については、隣接する土地所有者と売払いに向けた協議を進めている。

Q 機能のない水路敷の売払いの状況は。

A 都市建設部長 令和5年度に3件、240.45平方メートルで578万1,274円であり、そのうち水富地区は2件、168.06平方メートルで463万274円であった。また、令和元年度から令和5年度までの過去5年間の実績では、16件、621.42平方メートルで、2,232万9,898円であり、そのうち水富地区は9件、296.45平方メートルで845万7,898円であった。



録画配信の
2次元コード

町田 昌弘
健政会

役割を終えた公共施設／生産緑地 は市街地に残る貴重な緑地

◆旧堀兼学校給食センターは機能移転後も建物がそのまま

Q 水道や電気、ガス等のライフラインや建物維持管理の現状、年間の維持費は。また、建物がそのままである理由は。

A 総務部長 ガス、水道は使用を停止し、電気は防犯上の観点から機械警備を実施しており、機械警備委託料と電気料金、火災保険料で、年間約44万円である。建物は、公共施設再編計画において除却せずに民間譲渡することとしている。

◆違う方法を探られるのも一案。早い段階で再考を

Q 狭山市公共施設再編計画によると旧堀兼学校給食センターは2018年度から2027年度に民間に譲渡するとなっているが状況は。

A 総務部長 公共基準点2ヵ所と防犯灯、ガス整圧器が敷地内に設置されており、譲渡にはこれらの除去が必要なことが判明したため、現在、移設、撤去に向けた調整を行っているところである。

◆環境保全や災害時の避難地等の機能を有する生産緑地を利活用するには

Q 市が買い取って公園等の公共施設の敷地として活用することも必要では。

A 都市建設部長 市街化区域内である生産緑地は都市農地として保全されていると考えているが、今後、社会経済情勢の変化などを踏まえ、関係部署と利活用を検討していくことが必要であると考えます。



稼働当時のままの姿で現在に至る